

第4回全日本 ID(知的障がい者)柔道大会 要項

- 1 目的 知的障がい者柔道の普及発展と、さまざまな人々が互いに尊重し支えあう社会づくりを目指し、更なる目標を得る機会とする。また、今年度の強化指定選手を選考する大会の一つとする。
- 2 主催 公益財団法人全日本柔道連盟
- 3 後援(予定) 公益財団法人日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会、
一般社団法人全日本知的障がい者スポーツ協会、
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
公益財団法人清心内海塾
- 4 大会協賛 日本シニアライフ株式会社、ダイコロ株式会社、日本文化大學、株式会社内田組、
大塚製薬株式会社
- 5 日程 2023年11月11日(土)
11:30~12:30 審判会議
12:30 開場(選手・コーチ)
12:30~13:30 計量
13:30~14:00 コーチ会議
14:00~16:00 交流練習会・クラス分け
16:00~16:30 大会に向けて諸注意事項
※試合参加資格のない選手も合同練習に自由に参加できます。

2023年11月12日(日)
09:30 開場(到着次第、着替えとウォーミングアップ)
10:45 開会式
11:00 大会(予選)開始
14:00 ファイナルブロック
14:30 閉会式(表彰式)
※試合進行により、ファイナルや閉会式の時間が早まることもある。
※昼休憩の時間はとらないがファイナル前に15分程度の休憩をとる。
また、昼食については各自手配とする。
- 6 会場 日本文化大學 立志館(〒192-0986 東京都八王子市片倉町977番地)
駐車場に停められる台数には限りがある(公共交通機関の利用も検討のこと)
会場最寄り駅: JR 横浜線 片倉駅(徒歩約7分)
- 7 参加資格 (1) 本年度、全日本柔道連盟に登録済の者とする。また、コーチもしくは引率者が不在のチームは参加することができない。
(2) 知的障がい者手帳を所有している者で試合当日に15歳以上であること。
(3) 指導者は全日本柔道連盟 ID 柔道試合特別審判規定を熟知し、その内容を選手に

指導していること。

(4) 以下に示すレベルに当てはまることを、当該選手が所属する全柔連登録団体の指導者が判断した者。

ア レベル1: とても優れた柔道の技術を有しており、上記のような選手と同等に試合することができる。また力強い動作と素早い反応ができ、試合中に戦術を組み立てることができる。

イ レベル2: 障がいのない選手と乱取を同等に行うことができる程度の技術を有している。多少動作のスピードや力強さに欠けるが、かなり素早い反応ができ、試合を理解できている。

ウ レベル3: 障がいのない選手と乱取を楽しむことができる。動作やスピード感に多少の力強さはあるが、反応がやや遅く、試合を理解していない。

※指導者は、自身が判断する選手のレベル（レベル1～レベル3）を記載すること。

※前日のクラス分けにより、試合参加の有無が決定される場合がある。

8 参加申込み

①申込用紙、②メディカルチェックシートについては、

以下のURLもしくはQRコードよりインターネットアプリ

「Formrun」にアクセスし、必要事項を記入のうえ申し込むこと。

URL：<https://form.run/@promotion-qYHTX7MUL3P08euKK1r1>



③第3回全日本ID柔道大会に出場していない選手は、手帳写しを全日本柔道連盟振興課にメールにて送ること。（第3回出場選手は手帳の写し送信不要）

全日本柔道連盟振興課メールアドレス：idjudo@judo.or.jp

9. 参加申込締切：大会申し込み、宿泊申し込み共に**2023年10月20日(金)まで**に申し込むこと。

10. 参加費 無料

11. 競技方法

(1) 競技規定 ア 全日本柔道連盟ID柔道試合審判特別規程及び本大会申し合わせ事項によって行う。試合時間は3分とする。

イ 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」「判定」とする。延長戦は行わない。
「僅差」：「指導」差が2差の場合は「指導」が少ない方の選手が「僅差」による勝ちとなる。

「判定」：双方の選手間に技による評価がない場合、または同等の場合、「指導」差が1差の場合は旗判定によって勝敗を決する。

(2) ゼッケン ゼッケンを各自で下記の要領にて必ず縫い付けること（無ければ失格とする）。

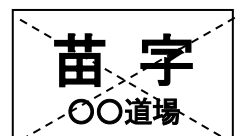
ア ゼッケンのサイズは、横30cm～35cm、縦25cm～30cmとする。

イ 縫い付け位置は、後襟から約5～10cm下部とし、対角線にも縫い付けること。

ウ 表記は、上部2/3に苗字、下部1/3に所属名を記載する。

所属名は全柔連所属団体名とする。

エ 字体はゴシック又は明朝で記載すること。



- (3) 組合せ 11月11日(土)のクラス分け終了後に主催者が決定する。
- (4) 表彰 各部とも第1位、第2位、第3位の入賞者を表彰する。また4位以下は敢闘賞とし、全員を表彰する。
12. 傷害対策 (1) 主催者は出場選手の傷害保険に加入し、その費用を負担する。
(2) 大会会場に医師を配置し、不慮の負傷・疾病については応急処置を施すが、それ以上の責任を負わない。
13. 脳震盪対応 選手及び指導者は下記の事項を遵守すること。
(1) 大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け、出場の許可を得ること。
(2) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること)。
(3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
(4) 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
14. 経費負担 交通費および宿泊費等は参加者の負担とする。
15. 宿泊 斡旋を希望するチームは、以下のURLもしくはQRコードよりインターネットアプリ「Formrun」にアクセスし、必要事項を記入の上、10月20日(金)までに申し込むこと。

申込フォーム：<https://form.run/@promotion-yXBEBXkHIw8M6j3ZeabC>



宿泊先：大学セミナーハウス 国際館

(〒192-0372 東京都八王子市下柚木 1987-1 TEL：042-676-8511)

国際館：<https://iush.jp/facilities/international/>

※1名1泊あたり7,040円(宿泊日の夕食・翌日の朝食付き)

※今年は、別イベントと被ったため、宿泊できる施設が国際館のみとなっている。

全ての部屋において、洗面・トイレ・浴室・シャワー室は共用となる。

※共同宿泊施設のため、部屋割りは全柔連で決定するものとする。

※二段ベッドによる6人部屋や8人部屋があるため、他チームと相部屋となることもある。

※11月11日(土)以外の宿泊を希望する方は、各自で手配すること。

(当連盟では11月11日以外の宿泊手配は行わない)

※キャンセルチャージについては、以下の通りとなる。

キャンセル料は、10月27日(金)から発生する。

・10月27日(金)から11月2日(木)…10%

・11月3日(金)から11月9日(木)…20%

・11月10日(金)…50%

・11月11日(土)当日キャンセルもしくは連絡せずに宿泊しなかった場合…100%

- 17 その他 (1)皮膚真菌症(トングランス感染症)について、大会時に選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
- (2)ゴミは各所属、各自でまとめて持ち帰ること。
- (3)所属選手が試合をしている際に、コーチもしくは引率者が座るための「引率者席」を試合場横に設置する。

18 個人情報、肖像権の取り扱いについて

大会中に撮影された写真や動画は、大会プログラム、全日本柔道連盟公式 SNS、制作物等に掲載される場合や、その他の報道機関等により、新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。

なお、提出された個人情報は、上記目的以外に使用しない。

参加申込用紙の提出をもって、上記取り扱いについて承諾したものとする。

《参加申込書及び大会に関する問い合わせは下記まで》

公益財団法人全日本柔道連盟 振興課 (担当: 蒲原 増田)

TEL : 03-3818-4430

E-Mail : idjudo@judo.or.jp